

選手村地区エネルギー検討会議（第3回） 議事概要

（1）日時・場所

平成29年2月28日（火） 10:00～11:30

都庁第二本庁舎 31F 特別会議室 21

（2）議事要旨

○車両への水素供給について

- ・ 燃料電池車両を活用したバス事業を円滑に運行させるために、より効率的な充填が可能な機器の開発や、コストダウンの実現など、民間事業者側でも積極的に技術革新を進めてほしいとの意見が示された。

○街区への水素供給について

- ・ 車両とまちに一体で水素を供給するという取組は、他にないモデルであり、先進的な施策として積極的にPRすべきとの意見が示された。

○水素のサプライチェーンについて

- ・ 水素は、将来的には海外からの海上輸送による調達も期待されている。本計画でも、水素社会の将来的な姿として、遠隔地からの海上輸送について言及するのが望ましいとの意見が示された。

○東京2020大会時における取組に関して

- ・ 大会時のPR効果が大会後の水素社会を推進する一面もあるため、企業の技術力を発信する場としての視点も必要との意見が示された。
- ・ ①水素事業の発展性、②水素技術固有の特性、③福島との連携ーなどの観点を踏まえ、大会時の取組内容をさらに検討していくことが重要との議論がなされた。

○関係機関等との連携について

- ・ 本計画の実現は、東京都だけでなく全国的な水素の普及に影響すると考えられるため、国や民間企業等が協力し合い、オールジャパンで取り組むことが必要との議論がなされた。

（3）今後のスケジュールについて

- ・ 3月末 「選手村地区エネルギー整備計画」を策定
- ・ 来年度 エネルギー事業者を公募、選定